

# ストレスと末端のこり

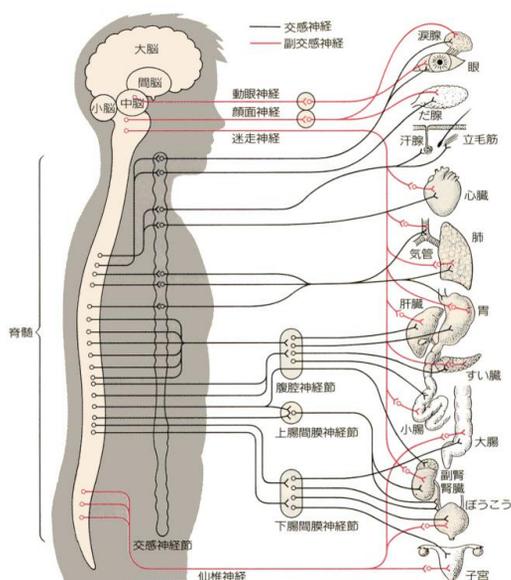


東洋鍼灸院



# ストレスと末端のこり

人間の身体にストレスがかかると、一体どういうふうになってしまうのでしょうか？今まで数万人の体を診てきた経験から、その症状と治療法を解説いたします。



## 自律神経とは

自律神経は、自分の意志で調節できない呼吸や血液の流れ、消化、体温調節などの生命活動を調整している神経です。

自律神経のバランスが乱れると、心臓がバクバクしたり、内蔵の機能低下や末端の血行が悪くなります。胃もたれ・便秘・下痢・足のシビレ・のどの痛み・イライラ・頭痛・吐き気・皮膚の炎症・異常発汗等の全身に神経症状がでます。

自律神経失調症と診断がついても投薬で治療することが難しく、東洋医学的なアプローチが功を奏す場合が多いです。

# 治療のポイント

■ 体にストレスがかかると交感神経が働きます。交感神経は血管を収縮させ、末端の血行不良を起こします。

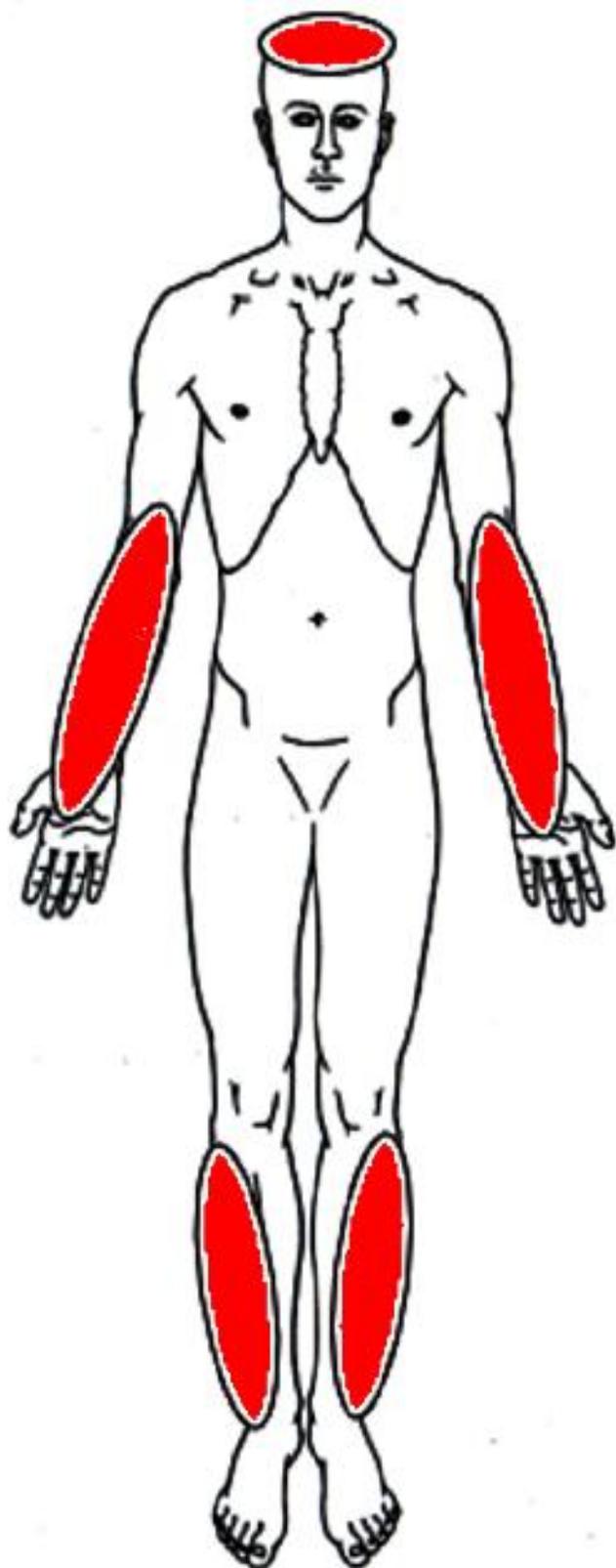
長期間、ストレスがかかると心臓から遠いところの「頭皮」「腕」「膝下」などが硬くなってきます。

■ 腕を使っていないのにだるく感じたり、長距離歩いていないのに足がしびれたり、イライラして頭をかいたり、目頭を押さえたり、すべて末端の血行不良が関係しています。

■ 当院では「頭皮は前・中大脳動脈の反応点」、「腕は正中神経と屈筋腱」「膝下は足の三里と深腓骨神経」を独自の考え方で治療いたします。

■ 便秘や下痢などの胃腸障害がある方などもご相談下さい。対応いたします。

# ストレスの反応点



1. 頭皮

2. 腕

3. 膝下

# 頭皮の治療



左の図は頭を上から見たところでは、下が前で上が後です。特に反応の出るところは前・中大脳動脈の反応点です。

ひどい方になるとむくみが出て、ぶよぶよした感じになってきます。

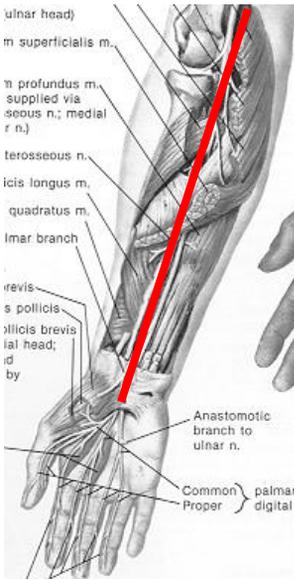
# 実際の治療



# 腕の治療

腕の治療は内側の中心線が治療のポイントです。

ここは指を曲げるための腱が二層構造になっていて、真ん中を神経が通っています。そのため、物を掴む動きを繰り返して二つの筋肉が硬くなると、神経が圧迫される仕組みになっています。(左図断面図参照)



## 実際の治療



# 脚の治療



左の図は膝下を水平に切ってみたところです。脛骨と腓骨の間に深く筋肉が入り込んでいることがわかってきます。

この筋肉は歩くときに使う筋肉ですが、深さがあるためにとてもタフです。こういう構造のため、治療の刺激が深部まで届く技術が必要になってきます。ある一点から、ある角度で刺激を与えると、深部まで治療できます。これには多少の熟練が必要です。

## 実際の治療



# 当院地図



営業時間 金曜定休

電話受付: 朝10時～夜11時  
院内治療: 朝11時～夜10時



〒140-0004

品川区南品川2-11-4

東洋鍼灸院

0120-489-891

03-3474-5559

[www.489891.com](http://www.489891.com)